



グルネルのセーヌ川 1878年 油彩・キャンバス 46×55cm デンヴァー美術館所蔵 © Denver Art Museum, Helen Dill Collection

没後100年 シスレー展 フランス・印象派の詩情

2000年4/22^土→5/21^日

休館日=月曜日
開館時間=火、水、木曜日(9時から18時まで) 金曜日(～19時まで)
土、日曜日、祝日(～17時まで)
入室はいずれも閉館30分前まで
初日は午前10時 開展式

主催=高松市美術館/読売新聞大阪本社/美術館連絡協議会/西日本放送
協賛=花王株式会社
協力=日本航空
企画協力=株式会社アート・ライフ

入場料=一般1,000円(800円)/高大生600円(480円)
小中生300円(240円)

※()内は前売りおよび団体20名様以上の料金
※65歳以上の高齢者(長寿手帳等が必要)・身体障害者手帳・療育手帳
または精神障害者保健福祉手帳所持者は入場無料
※第2・第4土曜日は小・中・高生入場無料

高松市美術館
Takamatsu City Museum of Art

〒760-0027香川県高松市紺屋町10-4 Tel 087-823-1711



《ハンプトン・コートのだ》1874年 個人蔵



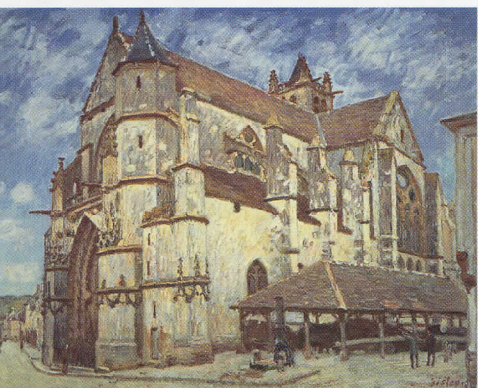
《春のモレの丘にて、朝》1880年 プリンストン大学付属美術館所蔵
© The Art Museum, Princeton University. Anonymous gift.



《サン=マメス、曇り空》1884年 オンタリオ美術館所蔵
© Art Gallery of Ontario, Toronto,
Gift of Reuben Wells Leonard Estate, 1934



《ポール=マルリのセーヌ川、砂山》1875年 シカゴ美術館所蔵
© The Art Institute of Chicago,
Mr. & Mrs. Martin A. Ryerson Collection, 1933. 1177



《モレの教会、夕刻》1894年 クリス・バンクロフト夫妻所蔵

Alfred Sisley

印象派の巨匠アルフレッド・シスレーは、1839年パリに生まれました。最も印象派らしい印象派の画家であり、終生フランスの風景を描き続けたシスレーですが、その豊かな感受性と詩情を持ちあわせていたにもかかわらず、印象派の画家の中でただひとり生前に成功を知ることがなかったのです。しかし、普仏戦争（1870-71）で家業が傾くまでのシスレーは裕福な商人の息子として、何不自由ない青年時代を過ごしました。18歳でイギリスへ渡ると、ターナー、コンスタブルらの作品に関心を示し、フランスへ帰国するとシャルル・グレルのアトリエに入り、そこでモネ、ルノワール、バジールらと知り合い戸外制作に熱中するのです。 “空のシスレー”と言われたように、作品には明るくのびのびと広がる、透き通った空や雲、そして運河や川の澄んだ水と輝く反射が満ちています。イルド=フランスの河畔の村々を愛したシスレー。情感を行き渡らせる技法により、彼独自の素直な印象がデリケートに表現されたその作品からは、フランスの大地への深い愛情が感じられます。

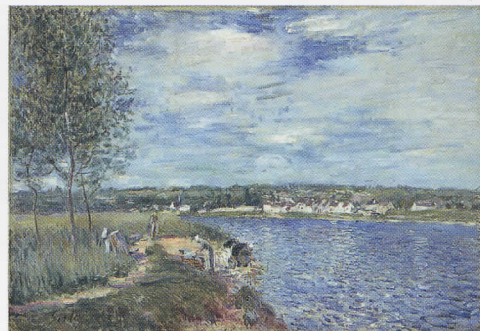
本展は、1899年に貧困と失意のうちに亡くなったシスレーの没後100年を機に開催されるもので、約50点の精選した作品により、初期から晩年にいたる芸術を回顧するものです。

◆ギャラリートーク◆

- 当館学芸員が展示作品の解説をいたします。
4月22日(土)午後2時より2階展示室にて
- 美術館ボランティア「civi(シヴィ)」とともに展示作品の鑑賞をご一緒しませんか?
毎日曜日および祝日[4月29日(土)、5月3日(水)、4日(木)、5日(金)]
午前11時～、午後2時～一日2回
2階展示室にて



《カーティフの停泊地》1897年 ランス美術館所蔵
© Musée des Beaux-Arts, Reims



《洗濯女、シャンパーニュ近くにて》1882年
カナダ国立美術館所蔵
© National Gallery of Canada, Ottawa



◆高松市美術館 交通のご案内
[JR四国] JR高松駅下車、南へ徒歩15分
[琴平電鉄] 瓦町駅・片原町駅下車、徒歩10分
[バス路線] 紺屋町バス停下車、徒歩3分
[駐車場] 美術館地下に公営駐車場(有料、乗用車144台収容)

◆次回催し物のお知らせ◆

●「[REDACTED]」

●「[REDACTED]」

●「[REDACTED]」

●レンブラント版画展

2000年6月2日(金)～7月2日(日)